

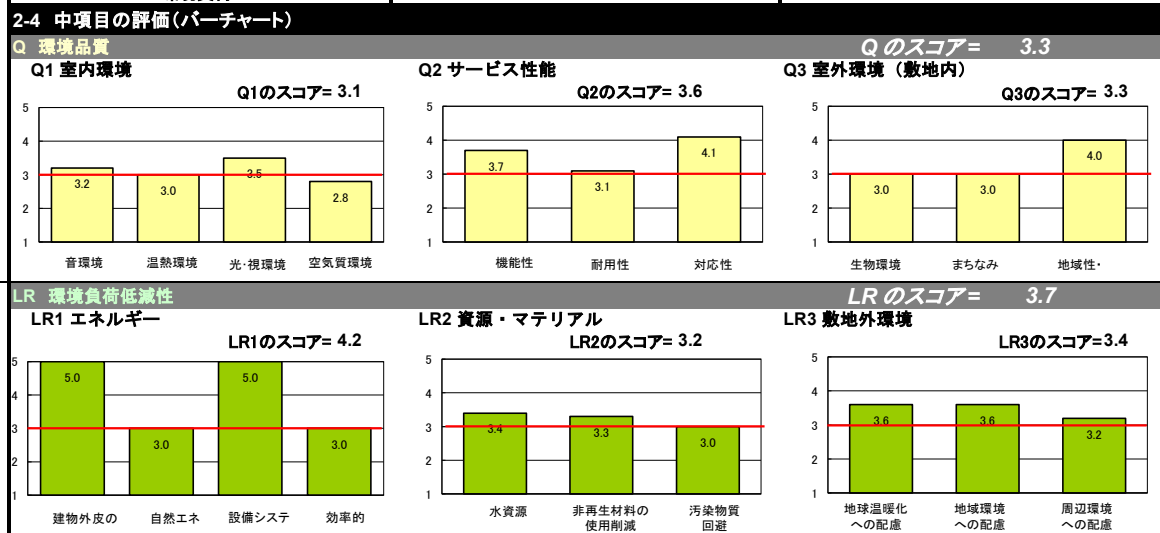
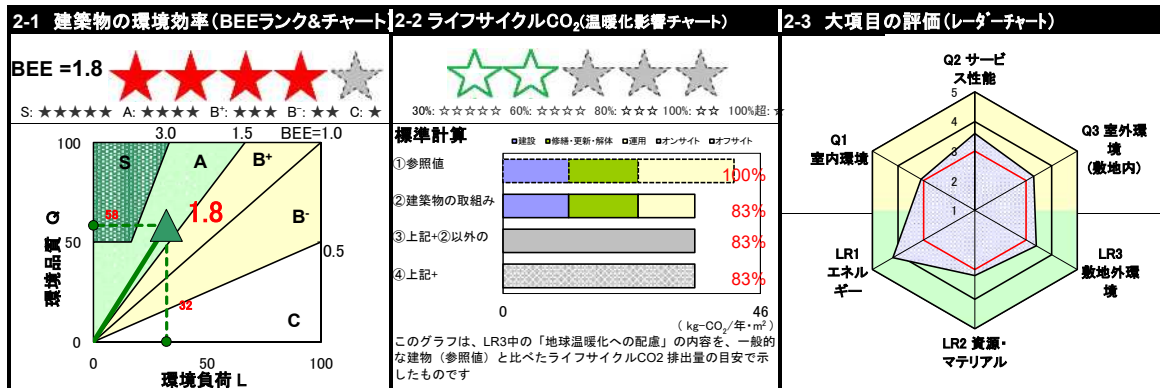
CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西尾市立吉良中学校	階数	地上3階
建設地	愛知県西尾市吉良町富田油田8番の一部	構造	RC造
用途地域	用途地域未指定(市街化調整区域)	平均居住人員	820 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,800 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2028年7月 予定	評価の実施日	2025年1月20日
敷地面積	49,311 m ²	作成者	榊浦野設計 江口浩壽
建築面積	3,169 m ²	確認日	2025年1月30日
延床面積	8,177 m ²	確認者	榊浦野設計 藤原睦己



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.6	3.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.4	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
西尾市立吉良中学校

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質										3.3	
Q1 室内環境						0.40			-	3.1	
1 音環境				0.1	3.2	0.15			-	3.2	
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.40		3.0	-		
1.2 遮音				0.4	3.6	0.40			-		
1 開口部遮音性能		Dr-45以上		-	3.0	0.30		3.0	-		
2 界壁遮音性能				-	5.0	0.30		3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.20		3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	0.20		3.0	-		
1.3 吸音				-	3.0	0.20		3.0	-		
2 温熱環境				0.3	3.0	0.35			-	3.0	
2.1 室温制御				0.5	3.8	0.50			-		
1 室温		窓:U=2.97W/m ² K、壁:U=0.80W/m ² K		3.0	3.0	0.60		3.0	-		
2 外皮性能				3.0	5.0	0.40		3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	3.0	-			-		
2.2 湿度制御				3.0	1.0	0.20		3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	3.0	0.30		3.0	-		
3 光・視環境				0.2	3.5	0.25			-	3.5	
3.1 昼光利用				0.3	3.0	0.30			-		
1 昼光率				3.0	3.0	0.60		3.0	-		
2 方位別開口				3.0	-	-		3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	3.0	0.40		3.0	-		
3.2 グレア対策				0.3	3.0	0.30			-		
1 昼光制御				5.0	3.0	1.00		3.0	-		
3.3 照度				3.0	3.0	0.15		3.0	-		
3.4 照明制御		照度センサーによる照明制御を行っている		3.0	5.0	0.25		3.0	-		
4 空気質環境				0.2	2.8	0.25			-	2.8	
4.1 発生源対策				0.5	3.0	0.50			-		
1 化学汚染物質				3.0	3.0	1.00		3.0	-		
4.2 換気				0.3	2.3	0.30			-		
1 換気量				3.0	3.0	0.33		3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	3.0	0.33		3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	1.0	0.33		3.0	-		
4.3 運用管理				0.2	3.0	0.20			-		
1 CO ₂ の監視				3.0	1.0	0.50			-		
2 喫煙の制御		学校敷地内禁煙		3.0	5.0	0.50			-		
Q2 サービス性能						0.30			-	3.6	
1 機能性				0.4	3.7	0.40			-	3.7	
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40			-		
1 広さ・収納性				3.0	3.0	-		3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	3.0	-		3.0	-		
3 バリアフリー計画	独自			3.0	3.0	1.00			-		
1.2 心理性・快適性				0.3	3.5	0.30			-		
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	3.0	0.50		3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	3.0	-			-		
3 内装計画		内観・パースにより検証を行った		3.0	4.0	0.50			-		
1.3 維持管理				0.3	5.0	0.30			-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性、メンテナンス性の高い建材を採用		3.0	5.0	0.50			-		
2 維持管理用機能の確保		清掃・メンテナンススペースを確保		-	5.0	0.50			-		
2 耐用性・信頼性				0.3	3.1	0.31			-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48			-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80			-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20			-		
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.3	0.33			-		
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23			-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②			-	3.0	0.23			-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09			-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08			-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水・排水管はB、消火管はCを採用		-	5.0	0.15			-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23			-		
2.4 信頼性				0.1	3.2	0.19			-		
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20			-		
2 給排水・衛生設備				3.0	3.0	0.20			-		
3 電気設備				3.0	3.0	0.20			-		
4 機械・配管支持方法	②	KH1.5以上		3.0	4.0	0.20			-		
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20			-		

3 対応性・更新性				0.2	4.1	0.29	-	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり				0.3	4.6	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり			最小階高:3.8m	-	5.0	0.60		3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率:0.105	3.0	4.0	0.40		3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			最低固定荷重:4,300N/m ²	3.0	5.0	0.31		3.0	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性	②			-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.30	-	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出	独自③			-	3.0	0.30	-	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			-	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	4.0	0.30	-	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		校舎の一部を地域開放	-	5.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー						0.40	-	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.64	3.0	5.0	0.30	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.59	3.0	5.0	0.30	-	-	-	5.0
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						0.30	-	-	-	3.2
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			節水コマ、省水型機器を採用	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.3	0.63	-	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	②		-	-	3.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自			3.0	3.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	2.0	0.05	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自		躯体と仕上材は分離可能	3.0	5.0	0.24	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境						0.30	-	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮	①		ライフサイクルCO2排出率83%	-	3.6	0.33	-	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				0.3	3.6	0.33	-	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			緑地面積を確保	-	4.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.7	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減	独自			-	3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制	独自		全生徒が駐輪可能な駐輪場を整備	-	5.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			ゴミの回収スペースを整備	-	4.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音	独自			-	3.0	1.00	-	-	-	
2 振動	独自			-	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	2.8	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制				-	3.0	0.60	-	-	-	
2 砂塵の抑制				-	2.0	0.20	-	-	-	
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.20	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	4.4	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			広告物照明無し	-	5.0	0.70	-	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目スコアシート
西尾市立吉良中学校

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE 建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点		全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	3.4	
② 資源の有効活用					
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09		
Q2-3	対応性・更新性	4.1	0.09		
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19		
③ 敷地内の緑化					3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:22.5%/建物緑化:0%	
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0	
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 西尾市立吉良中学校

計画上の配慮事項	
総合	「いごちのよい学校」「お互い認め合える学校」「みんなが来なくなる学校」をコンセプトに自然採光の行き届く明るい校舎、既存の学校シンボルの継承、高断熱・省エネ機器の採用により環境負荷の小さい学校を目指した。
Q1 室内環境	教室同士の間仕切壁は遮音性能の高い仕様とし授業中の音環境に配慮した。また外壁の断熱性能を確保し空調機器、照明器具に高効率機器を採用することで省エネルギーへの配慮を行った。
Q2 サービス性能	内装仕上は防汚性、メンテナンス性の高い建材を選定、また階高や荷重にゆとりを持たせ将来改修が容易となる計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内のメインストリートであるケヤキ並木を保存・更新し、また敷地内の緑地を極力 既存より縮小しないように努めた。
LR1 エネルギー	ZEB readyの基準となるBEI=0.5以下となるよう、外壁の高断熱化、設備機器の省エネルギー化・高効率化を行った。
LR2 資源・マテリアル	改修・解体時に建材の分別・リサイクルを行えるよう、躯体と仕上材は分離可能な仕様で設計を行った。
LR3 敷地外環境	全生徒が自転車通学を行うため敷地内の自転車道路・自動車道路の分離を行い生徒の安全な通学が行える計画とした。
その他	